

平成 29 年 2 月 28 日 熊本労働基準監督署 熊本城復旧工事に関する安全協議会に参加！

熊本地震で大きなダメージを受けた熊本城の復旧にむけた工事がはじまっています。

熊本労働基準監督署では、復旧工事の中での労災発生を未然に防ぐため、また、より良い職場環境形成のため徳田熊本労働局長も参加しての局署合同の安全衛生パトロールを行いました。

熊本城調査研究センターから各所の被害の状況、復旧工事に向けての注意点、今後の計画等について

説明を受けながら巡回しました。

まずは、飯田丸に向けて進みました。途中、石垣が崩れており、作業の難しさを感じました。



飯田丸の手前で梅の花が咲いていました。一刻も早い復興を願っているようです。

今、飯田丸はこれ以上の損傷が生じないよう構造体に包まれています。この構造体も綿密に計算されたもので、組立て作業や点検作業時の安全にも十分配慮されています。





東竹の丸にやってきました。損傷を受けた建物が倒壊しないようにけん引されています。

壁も大きく剥離しています。



本丸の広場を通り、大天守の前に到着しました。外見では、瓦の損傷がひどく、今後も雨などによる損傷が心配です。

既に工事用の橋が架けられています。この橋を利用して車両等を搬入されるとのことでした。遠くには、熊本市金峰山も見えています。





奉行丸に並べられた石です。一つ一つが重量物であり、作業の大変さが想像されます。番号が振られ、元の石垣に戻る日を待っているようです。

最後に飯田丸を石垣側から確認しました。



【安全協議会に参加】

転倒災害プロジェクトを中心に次の事項について説明しました。

- (1) 災害発生状況
- (2) 整理整頓の徹底とより良い職場環境の形成
- (3) 安全管理体制の見直し
- (4) 機械関係の点検の徹底など

今後、熊本城復旧に関する工事の無災害での完了を願っています。